



宮崎県 南日本酪農協同株式会社

『自然と健康がいっぱいの牛乳を世界へ』

【主な品目】

牛乳（LL牛乳）、乳製品

【主な輸出先国・地域】

香港、台湾、シンガポール、アメリカ等

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成22年から香港を先駆けに、LL牛乳などロングライフ商品を中心に輸出を開始。
- ◆ 平成24年にFSSC22000の認証を取得。

【輸出実績】（平成22年度より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量 (t)	出荷時期
令和6年度	20,253	518	通年
令和5年度	17,928	474	
令和4年度	29,111	1,157	

【効果があった取組】

パッケージに「JAPAN MILK」ロゴを新たに入れて、「日本の安全・安心」や「高品質な生乳」を強調したマーケティングを行い、日本の酪農家のこだわりや、生産過程の透明性をアピールした。

【取り組む際に生じた課題】

- 1 香港でニーズがあるチルド牛乳の輸出に向けて、長期品質保持できる商品開発が必要。
- 2 日本製の他社商品とのバッティングを回避するため、新商品の開発が必要。

【生じた課題への対応】

- 1 長期品質保持商品の製造のため、国の補助事業を受けて施設の整備。
- 2 地元企業と連携して新商品の開発及びOEM事業に取り組む。

【対応の結果】

- 1 「食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業」の交付金を活用し、都城工場にSE-65輸出対応ラインが完成。チルド牛乳の賞味期限を延長することが可能となった。
- 2 地元企業と連携して、新商品（アイスクリーム）を開発し、台湾・シンガポールへ輸出。

【今後の課題・展望】

- 1 ESL牛乳*を中心にチルド商材の輸出拡大を図るため、有力な販売先の確保。
- 2 既に実績のあるアイスクリーム分野に加え、今後はチルド牛乳をはじめとする乳製品のOEM事業を強化し、事業領域拡大に継続して取り組む。
- 3 南日本酪農に関わるステークホルダー、特に酪農家を中心とした乳資源の維持拡大への貢献。

*ESL牛乳とは、原料乳から製品に至るまで、殺菌レベルを向上させた牛乳



香港Food Expo



香港Food Expoで講演

【活用した支援・施策】(国)HACCP事業(ハード)令和5年度補正、(県)経済交流事業(ソフト)令和1～2年度、令和4～6年度
【ウェブサイト】<https://www.dairy-milk.co.jp/>

【連絡先】 担当者名：笹原 剛、TEL：0986-23-3457